

川西市議会議員 きたうえあきひと **北上哲仁**

2005年7月 VOL.11

編集：北上哲仁サポーターズ

いなほだより

川西市萩原台東1-275-3

TEL 072-758-7724

FAX 072-758-7725

<http://www.kitaue.com>E-mail akihito@kitaue.com

1951年12月7日 第三種郵便物
認可 社会新報/号外
社会民主党全国連合機関紙宣
伝局 週刊(水曜日発行)
東京都千代田区永田町1-8-1
電話(代)03(3580)1171
定価180円 1ヵ月700円
送料160円

「住民基本台帳法改正を求める意見書」**6月市議会 全会一致で採択**

住民の個人情報業者が好き勝手に利用されている現状について、基本台帳法を改正して大量閲覧を禁止するよう意見書を政府に提出して欲しいという請願が、3つの市民団体から6月議会に出されていました。嬉しいことに、この請願が全会一致で採択されました。

住民基本台帳第11条では氏名・住所・生年月日・性別について申請すれば原則的に誰でも閲覧できるようになっています。この制度を利用した悪徳商法や痛ましい犯罪が発生しています。

制度の見直しが急がれます

今年3月には名古屋市で、住民基本台帳大量閲覧制度を悪用して母子家庭を探し出し、母親の留守中に犯罪行為に及んだ男性が逮捕されました。個人情報保護法や行政機関の保有する個人情報保護に関する法律等が施行され、市民のプライバシー保護についての要求が高まるなか、閲覧制度を見なおすべきだとの声が強まっています。

市民団体「あしたをひらく女性の会」「いやや

ねん！住基ネット川西市民の会」「地域に生きる川西市民の会」から市議会に「住民基本台帳法改正を求める意見書を政府に提出して欲しい」との請願が出されました。内容は「市民の生命、財産、プライバシーを保護するため、速やかに第11条を見直し、公用または公益目的以外の閲覧については禁止するべきである」というものです。

この請願は厚生経済委員会で審議され、「閲覧では家族構成まで明らかになる。早急な見直しが必要」などの意見が出され、意見書を提出することとなりました。7月1日の本会議で意見書を政府に提出することが全会一致で決まりました。

北上 哲仁

私たちは、住民自身が自分たちの権利を主張し、行動しないことには事態は変わらないと考えています。行政まかせでは、一旦、漏洩した個人情報は取り戻せません。北上哲仁さんは、先進県の熊本や佐賀へも視察に行かれ、自治体の責任として住民の個人情報をいかに守るべきかを真剣に考え、大量閲覧を止める手立てを模索されています。

今回、その北上さんに紹介議員になってもらい、請願という形で私たち住民の声を市議会へ届けることができました。ご尽力のおかげで、私たちの要望が川西市議会の意見書として、国へ提出されるという嬉しい結果を得ました。

いややねん！住基ネット川西市民の会
大和西 渡辺 静雄

学校給食の主食をごはんに

市内小学校米飯給食の実施状況は、昨年9月より週約2回に改善されたものの、県下最低です。私は6月議会で給食の主食をパンから米飯に変えるべきだと主張しましたが、市長からも教育委員会からも前向きな答弁はありませんでした。とても、残念です。

日本人の食生活は、戦後この60年で急激に変化しました。主食である米の消費が激減し、食文化の欧米化が進んだのです。フランス人は200年前もフランスパンを食べ、イタリア人は300年前もパスタを食べていました。日本のようにこれだけ短期間に食生活が急変した国は、世界中を探してもないだろうといわれています。食の欧米化のきっかけのひとつは、学校給食にアメリカの余剰小麦を受け入れ、コッペパンを導入したことです。

「食」と「環境」の結びつき

日本列島は肥沃な土地、温暖な気候、豊富できれいな水、豊かな自然条件に恵まれており、それを活かした水田で稲作が行われてきました。川西の学校給食では100%地元産米が使われています。米飯給食は、川西の水田を守ることにもなるのです。

「食」こそ 子どもの未来

昨今、子どもたちの心身の健康と食生活の関係がクローズアップされています。特に小児生活習慣病、肥満、アレルギー性疾患等は食の欧米化が原因だと指摘されます。学校給食においても米飯給食の回数を増やす動きが全国的に進められてい

ます。季節の野菜や豆類、海藻類、魚介類を中心とした健康的なおかずには合うのはパンではなく、やはりご飯です。



給食は子どもたちの将来に渡る健康作り、体作りの基礎です。給食で身につけた食習慣・味覚が一生のものになっていきます。今後も完全米飯を目指して、皆さんと力共に働きかけを続けていきます。

パンに比べて米飯給食の良いところ

- ・ご飯は無添加でポストハーベスト（収穫後処理）農薬の心配がない。
- ・日本の農業と食文化を守る。
- ・脂肪の少ない健康的な和食の献立になる。

川西の学校給食の良いところ

- ・カレーやシチューのルーは加工品ではなく手作り。
- ・ダシは化学調味料ではなく和風は鰹や煮干し、中華・洋風は鳥の手羽からとっています。
- ・ゼリーは寒天から手作り。ふりかけも手作り。
- ・米飯給食の使用米は地元産。

議会を傍聴して

多田東 石本紋子

北上さんの質問は分かりやすく、子どもの健康のことを真剣に考えていることが伝わってきました。要はやる気の問題で完全米飯にする方法は考えればいくらでもあると私も思います。今のままの給食では、米離れする子をどんどん増やし、病気は年々増え、食糧自給率は下がり環境は悪くなる一方……。本当に子どもの健康、日本と川西の将来を考えて欲しいと思います。



労使交渉の公開を求める

当局答弁

「透明性を確保する形で
やっていきたい」

6月市議会の一般質問で、「職員団体に労使交渉の公開を働きかけ実現するべきではないか」質しました。

総務部長は答弁で「交渉の過程について、透明性を確保する形でやっていきたい」と述べました。大阪市での市職員厚遇問題に端を発し、公務員の待遇や市当局と職員団体との関係について市民の関心が高まっています。

地方公務員も勤労者であり、自らの勤務条件の維持、改善を求めることは、当然の権利です。それは職員の士気を高め、より良い住民サービスを安定的に提供するために欠かせないことです。し

かしながら、労使交渉の在り方と内容について、市民の厳しい目が向けられているのは事実です。市民は職員団体と市当局が市民の知らない、闇の中で「得手勝手なことを決めているのではないか」と不審を抱いています。私は労使交渉を公開し、市民に明らかにする中で労使双方が意見を述べ合う、双方が市民に説明責任を果たす、そのことによって市に対する市民の理解と信頼を高めるべきだと考えます。

今後どのような形で公開されるのか、注目してください。

報告

市民の集い / 小森陽一講演会「戦争で幸せになる子どもはいない！」

アステホールが満席

4月24日にアステホールで開催した、市民の集い「戦争で幸せになる子どもはいない！」には約400人の参加者がありました。

小森陽一さん（東大教授・九条の会事務局長）の基調講演では「9条はアジアの平和に貢献している」「戦争をする国づくりのために、

教育現場への攻撃が仕掛けられている」等、憲法を巡る動きを分かり易く語って頂きました。最後に小森さんは「聞き手から、語り手になってください」と参加者に呼びかけられました。一人でも多くの方に、平和憲法の大切さを語っていききたいですね。

「9条を変えてはいけない」

大和西 畚野 剛

小森さんのお話を聞くことで、教育基本法の改悪・心のノート・つくる会、教科書などの一連の動きが最終的に繋がる場所は憲法9条の「改正」であり、その結果、現政権がアメリカのブッシュ政権に協力して、海外で堂々と武力行使ができる「戦争への道」をひらく危険が強いことを知りました。今、庶民の側で一番大事なことは、力をあわせて、「平和憲法の根幹である第9条を変えてはいけない」とおっしゃることだと思います。それは大阪大空襲などで戦争の悲惨さを体験した者からの、若い方々への切なるお願いでもあります。

『国労冬物語 人らしく生きよう』

「国労冬物語 人らしく生きよう」上映会

と き 7月24日 午後2時～ (受付1時30分)

ところ みつなかホール 072-740-1117

川西能勢口駅東口より徒歩約5分

お話し JR西日本に勤務する国労組合員の皆さん

参加費 500円

お問い合わせ 090-3613-7069 (北上)

JR宝塚線事故は警告する

検証・民営化・競争社会と安全7.28集会

と き 7月28日(木) 夕方6時30分

ところ 尼崎市立労働福祉会館大ホール

講師 佐高信さん 参加費 500円

演題 「人間不在、壊死する企業化社会」

訴え 鉄建公団訴訟原告団 <司会は北上が務めます>

お問い合わせ 06-6481-2341

(尼崎地区労働組合人権平和センター)



娘は1才7ヶ月になりました。4月から市立中央保育所(もも組)に通っています。朝、自転車で送っていくのが北上の日課。

子どもたち、子育て真っ最中の親の声を、しっかり市政に届けたいと思います！

4月25日に発生したJR列車事故の要因は、会社の「儲け優先・安全軽視」の姿勢にあると指摘されています。

1987年に国鉄が分割民営化され、JRが生まれました。当時、分割民営化に反対した国労組合員1047人が不当に解雇され、徹底した組合つぶし、差別、いじめのなかで200人もの労働者が自殺に追い込まれました。その後JRは、ものの言えない「命令と服従の職場」になったと聞きます。人間として尊厳と労働者としての権利を否定した「国労つぶし」が、今回の列車事故に繋がったと思えてなりません。

国鉄分割民営化から18年がたちます。分割民営化とそれに抗い続ける国労組合員の闘いを描いた映画「国労冬物語 人らしく生きよう」を観ながら、JR列車事故を市民の立場、働く者の立場から検証します。

さぎそう園不当解雇撤回闘争 最高裁で勝利確定

パート労働者に勇気を与える判決！

社会福祉法人正心会が経営する特別養護老人ホーム「さぎそう園」(川西市丸山台)のパートヘルパーだった鳥羽さんは、労働組合活動を理由に不当解雇されました。鳥羽さんは職場復帰を求めて約2年半に渡り活動を続けてきました。6月2日、最高裁の判決が確定しました。

パート職員であっても「契約更新の反復により期間の定めない労働者にならない。解雇法理が類推適用される」「解雇理由は合理性がない」「介護職は非正規労働になじまない」というものです。非正規労働者、福祉労働者の雇用関係について画期的な判例となりました。

鳥羽さんは職場復帰に向け交渉を始めています。皆さん、ご支援有り難うございました。

しごと・くらし何でも相談

普段の生活や仕事で困ったことや不安はありませんか。一人で悩まずに一緒に考えましょう。

雇員相談員

恵須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士 大川一夫弁護士 在間秀和弁護士

連絡：北上事務所758-7724 議会控室740-1111内線4060 北上携帯090-3613-7069